

株式会社コメリ

2023年3月期

決算説明会資料

(2022年4月1日～2023年3月31日)



<https://www.komeri.bit.or.jp/>

© 2023 KOMERI CO., LTD.



2023年4月26日
東証プライム(8218)

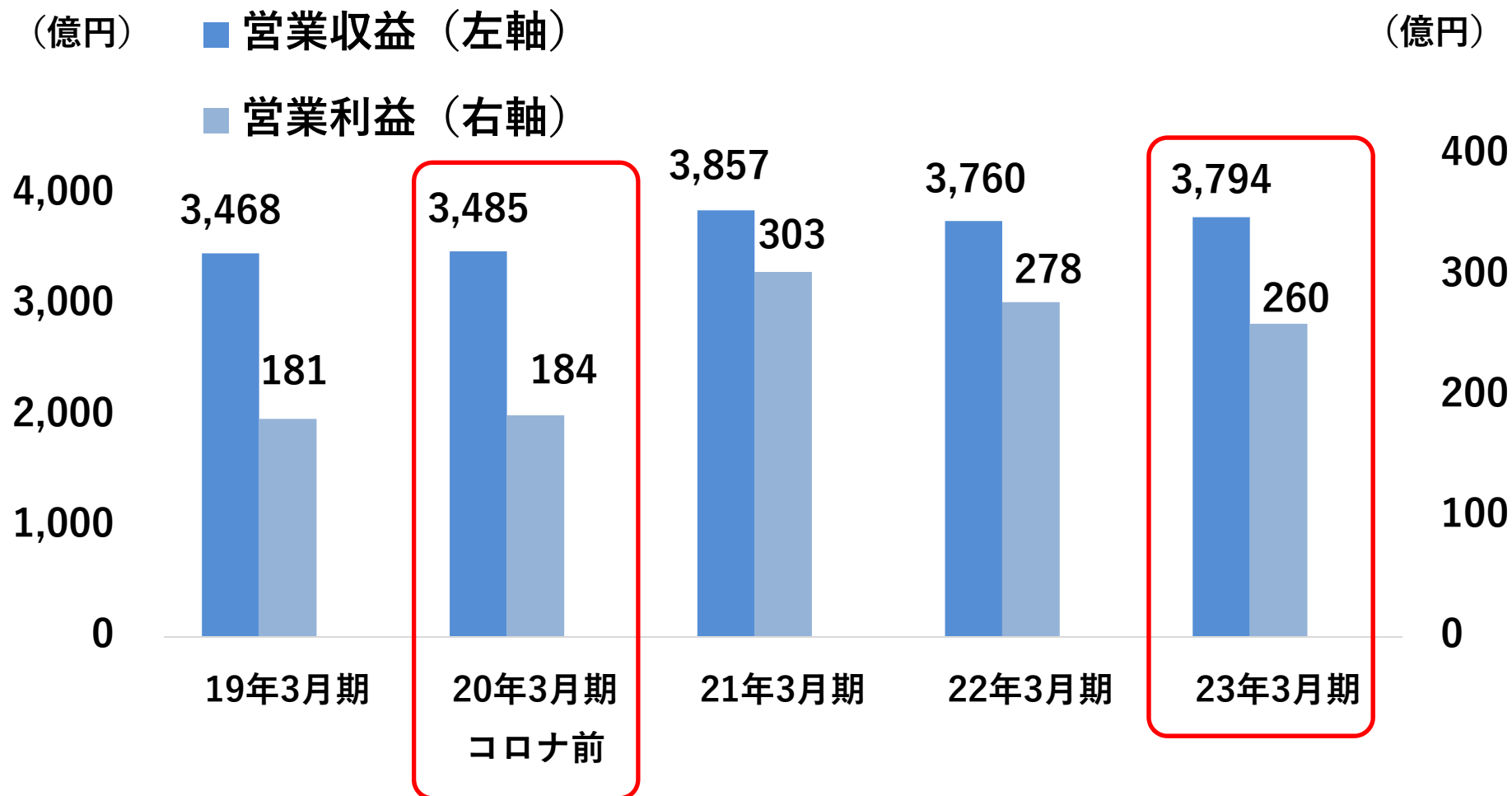
2023年3月期 決算実績（連結）



（単位：百万円）

	2023年3月期 実績	営業収益比	前年比
営業収益	379,401	100.0%	100.9%
営業総利益	132,065	34.8%	100.2%
販売管理費	106,012	27.9%	101.9%
営業利益	26,053	6.9%	93.6%
経常利益	25,812	6.8%	91.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,096	4.5%	95.5%

営業収益・営業利益推移



売上・利益ともにコロナ前の水準を大きく上回っている

商品カテゴリー別実績



(単位：百万円)

	2023年3月期			
	売上金額	前年比	荒利益率	前年差率
工具・金物・作業用品	69,048	101.1%	43.4%	▲0.24
リフォーム資材・エクステリア用品	57,166	103.1%	29.5%	▲0.96
園芸・農業・ペット用品	113,022	105.4%	31.2%	▲0.42
日用品・家電・カー・レジャー用品	71,028	97.7%	25.2%	+0.24
インテリア・家庭・オフィス用品	36,183	95.6%	40.3%	▲1.00
燃料他	14,345	88.5%	16.4%	+0.18
その他	13,677	101.7%	100.0%	+0.00
ホームセンター事業計	374,472	100.9%	34.9%	▲0.27

- ・ 夏物季節品は苦戦したが、核カテゴリーの売上は堅調に推移
- ・ 円安・原材料高等の影響で、荒利益率は悪化

フォーマット別実績



	2022年3月期		2023年3月期		
	売上 前年比	売上 既存比	売上 前年比	売上 既存比	灯油抜き 既存比
パワー	103.4%	97.4%	102.4%	99.6%	99.8%
PRO	150.6%	107.2%	143.4%	107.9%	107.9%
ハード&グリーン	95.9%	95.6%	99.8%	99.7%	100.4%
合計	98.4%	96.2%	100.9%	99.7%	100.2%

- ・商品単価の上昇により来店頻度、購入点数の減少はあるものの、資材・建材・肥料等のプロがご利用になられる商品群は堅調。
- ・冬季の灯油販売が苦戦 ⇒ 灯油抜きの売上既存比は 100.2%

販売管理費



(単位：百万円)

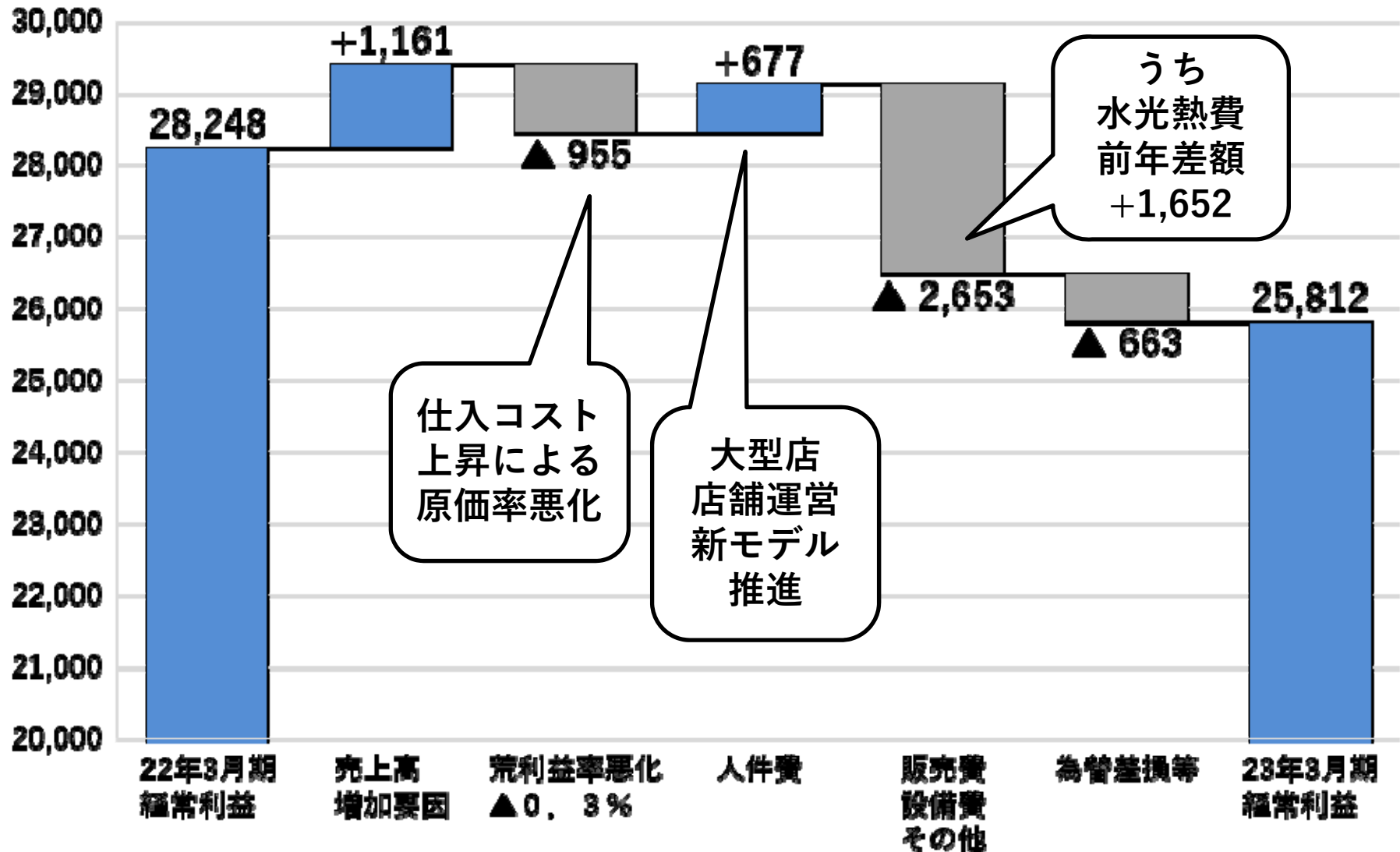
	2023年3月期		
	実績	前年比	前年差
人件費	46,672	98.6%	▲677
販売費	13,332	103.7%	+478
設備費	35,294	105.6%	+1,884
その他経費	10,712	102.8%	+291
合計	106,012	101.9%	+1,977

- 水道光熱費が前年比140.7%と大幅に増加
- 新型プライスレールの導入開始
- 店舗運営モデルの刷新とEDLP施策によるチラシの削減
⇒ 人件費、広告宣伝費は抑制

経常利益増減要因



(単位：百万円)



連結貸借対照表



(単位：百万円)

	科 目	2023年3月末	2022年 3 月 末	前期末増減
資産の部	流動資産	170,014	164,092	5,922
	うち 現金及び預金	14,111	19,422	▲5,311
	うち 商品	124,706	115,893	8,813
	固定資産	191,372	190,695	676
	うち 有形固定資産	164,029	163,252	777
	うち 無形固定資産	9,423	8,934	488
	資産合計	361,387	354,788	6,599
負債の部	流動負債	101,492	101,568	▲75
	うち 短期有利子負債	14,333	15,463	▲1,130
	固定負債	32,547	39,379	▲6,832
	うち 長期有利子負債	14,355	21,065	▲6,709
	負債合計	134,039	140,947	▲6,907
	純資産合計	227,347	213,840	13,506
	負債・純資産合計	361,387	354,788	6,599

成長基盤投資（第3次中期経営計画）



	2023年3月期 計画	> >	2025年3月期まで 3ヵ年投資計画
新規出店	32店舗 95億円	> >	100店舗 470億円
既存店 改装	売場面積の10%強 45億円	> >	毎年売場面積の10% 120億円
流通センター (非店舗)	新センター着工 既存センター機能拡充 30億円	> >	2センター新設 既存センター機能拡充 130億円
各種 システム投資	30億円	> >	80億円
合計	200億円	> >	800億円

成長基盤投資（中計1年目の進捗状況）



	2023年3月期 計画	2023年3月期 実績	>>	2024年3月期 設備投資計画
新規出店	32店舗 95億円	21店舗 60億円	>>	41店舗 185億円
既存店 改装	売場面積の10%強 45億円	売場面積の10%強 22億円	>>	売場面積の10%強 20億円
流通センター (非店舗)	新センター着工 既存センター機能拡充 30億円	新センター土地取得 既存センター機能拡充 20億円	>>	既存センター機能拡充 10億円
各種 システム投資	30億円	18億円	>>	20億円
合計	200億円	120億円	>>	235億円

2024年3月期 業績予想



(単位：百万円)

	2023年3月期	前年比	2024年3月期 上期業績予想	前年比	2024年3月期 業績予想	前年比
営業収益	379,401	100.9%	202,000	102.1%	386,000	101.7%
営業利益	26,053	93.6%	17,600	103.1%	27,000	103.6%
経常利益	25,812	91.4%	17,700	107.2%	27,100	105.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	17,096	95.5%	11,900	105.3%	17,300	101.2%
配当金	中間 25円 期末 25円	+4円 うち記念配当2円	中間 26円	+1円	期末 26円	+1円
自己株取得	2022年4月26日発表 取得株数 549,500株 取得価額 1,500百万円		2023年4月25日発表 取得株式数（上限）900,000株 取得価額（上限）2,700百万円			

2024年3月期 主要施策



コメリのねがい

世の中の人々の幸せのために

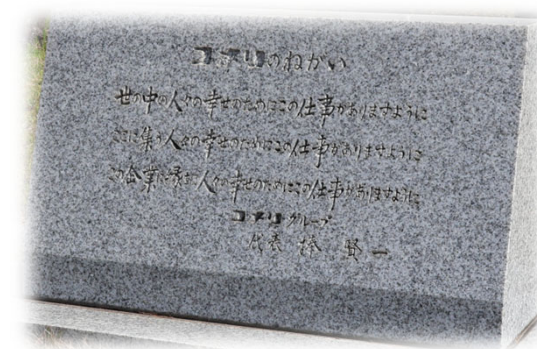
この仕事がありますように

ここに集う人々の幸せのために

この仕事がありますように

この企業に縁ある人々の幸せのために

この仕事がありますように



長期ビジョン～当社が目指すもの～



一隅を照らす

遅れた分野の
流通近代化



資材・建材等
リフォーム関連市場

肥料・農薬等
園芸・農業市場

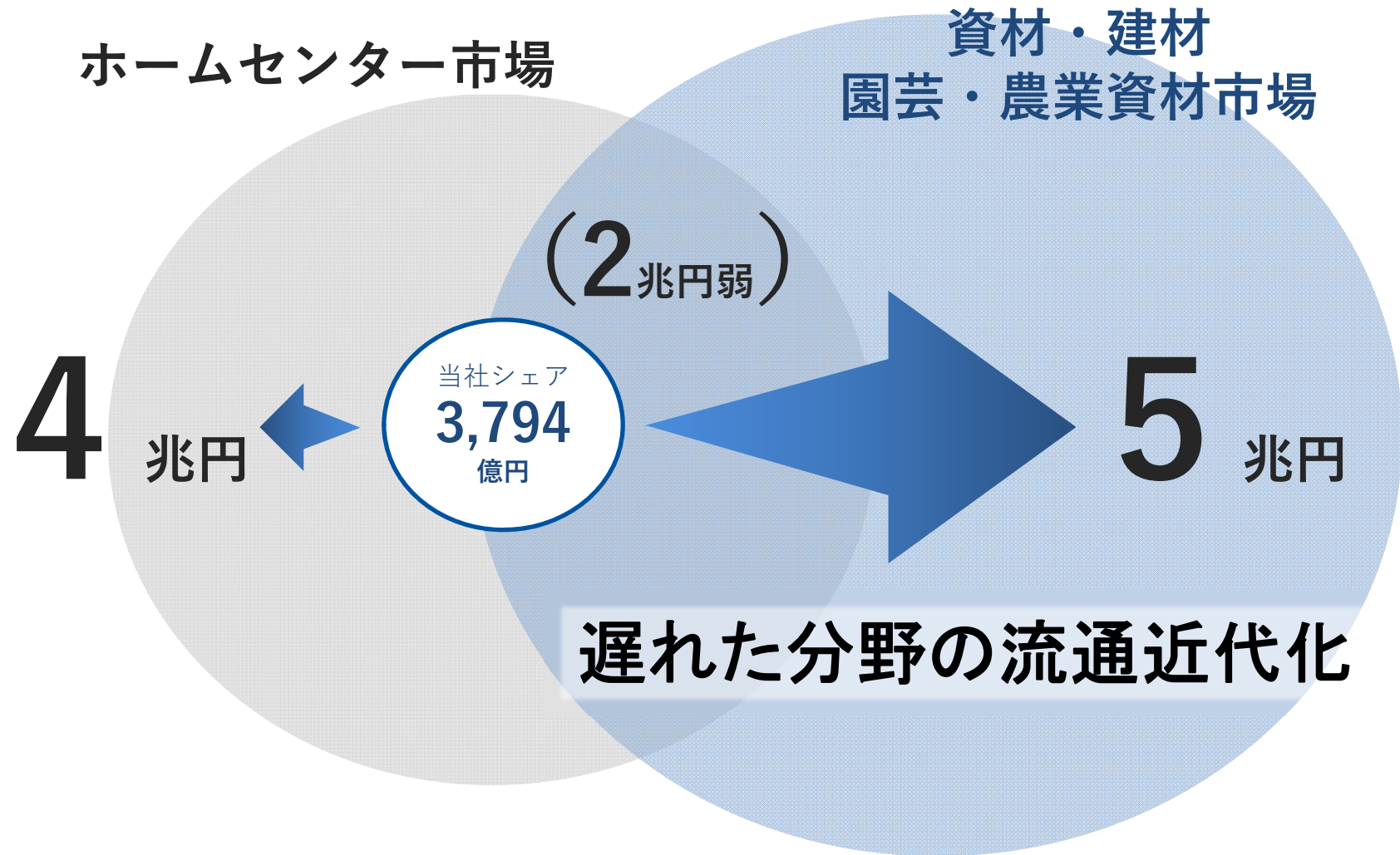
多段階にわたる流通構造、日本的商慣行を
チェーンストアの力でイノベーション

売上
目標

1 兆円

相対的小商圏で
より大きな売上シェアを

我々がチャレンジする市場 7兆円



コメリの核カテゴリー

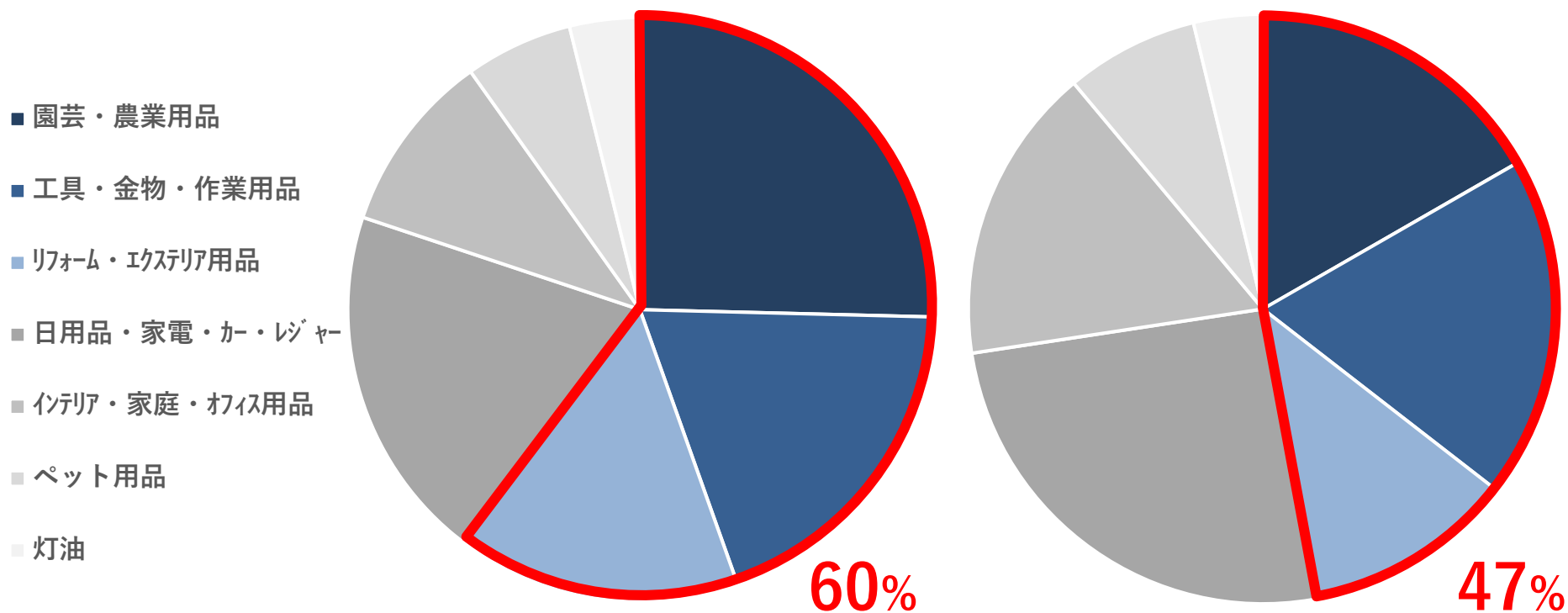


■ 資材・建材、園芸・農業の商品カテゴリーで他社と差別化

<カテゴリー別売上構成比>

コメリ (2023年3月期)

HC業界平均 (2021年)



出所：ホームセンター経営統計2022より当社集計

遅れた分野の流通近代化の乗り物



■ 相対的小商圈で勝ち抜く標準化されたフォーマット



コメリパワー

住まいのトータルソリューションセンター
住関連ニーズの全てのお客様に対応



コメリPRO

パワーのPRO館をスピンアウト
プロのお客様のニーズに特化

プロニーズ
対応店舗
106店舗



コメリハード&グリーン

資材・建材・金物・工具、園芸・農業資材の専門店
船団方式の隙間を埋める小商圈フォーマット
最新モデルの店舗が好調に推移

3つのフォーマットで船団を組み、ドミナント化を図る

3000店舗体制に向けて



■ 3000店舗へのインフラ投資

出店・改装

物流網構築

DX・システム投資

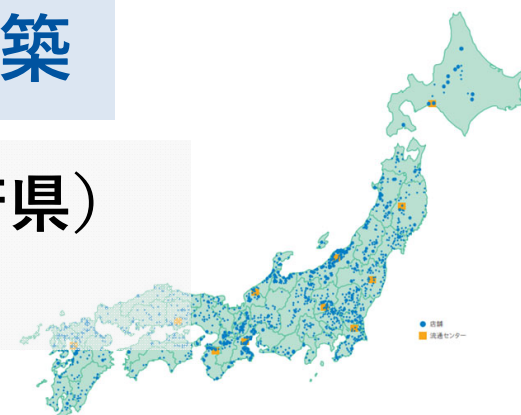
人財育成投資

2025年3月期までの
中期経営計画
800億円

■ 出店政策

船団方式によるドミナントエリアの構築

全国1,214店舗（沖縄を除く46都道府県）
出店済み市町村 44.6%（22.3時点）



出店・既存店リニューアル



■ 1,214店舗（PW 94 H&G 1,103 PRO 12 AT 5）

出店数				国内
'23年3月期 実績	10	3	8	21
'24年3月期 計画	7	2	22	41

■ 既存店改装

	改装店舗数	改装坪数
'23年3月期 実績	160	96,000坪
'24年3月期 計画	170	約100,000

- ・ 業態転換・移転増床
16店舗 → 好調に推移
- ・ 出店が遅れた店舗は
24年3月期計画に追加
- ・ 改装はほぼ計画通り

物流の強化



■ 商品力強化とローコストオペレーションの要

物流センターの機能拡充

九州流通センター：物流設備増設	<u>2022年10月完了</u>
新潟流通センター：F M C新設	<u>2022年12月稼働</u>
花巻流通センター：資材センター・F M C新設中	<u>2023年7月稼働予定</u>
関西流通センター：土地取得完了	<u>2025年2月稼働予定</u>



← 2022年12月に稼働した新潟フレッシュマネジメントセンター
切り花の流通加工を自社グループで行い、より新鮮な切り花を
より安くご提供する。茨城F M Cと合わせ約600店舗をカバー

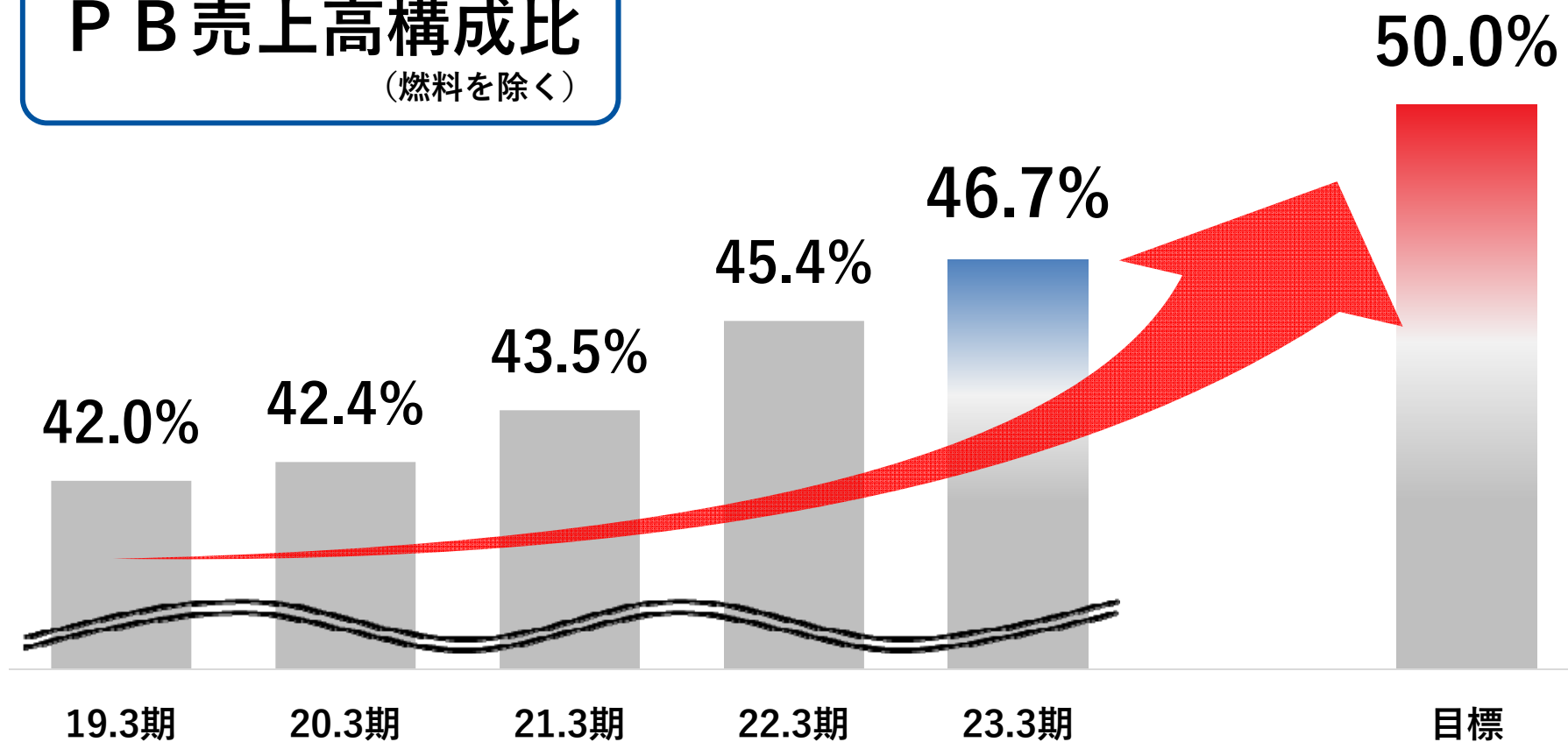
商品力強化



- 同じ商品ならどこよりも安く
同じ価格ならどこよりも良いものを

P B 売上高構成比

(燃料を除く)



暮らしを守り育てる商品開発



■ お客様の潜在ニーズを顕在化させる商品開発



自走草刈機「速刈り君」

大変な草刈り作業を、楽に、安全に
していただける商品を、リーズナブルな
価格でご提供



B-Share ハンディチェーンソー
同じバッテリーをシェアできるB-Shareシ
リーズの大ヒット商品

テレビCM等の効果で客層が拡大
新たな需要創造につながる

チェーンリフォーム



■ 全店フルリフォーム体制（23年2月 全国CM放映）



23.3期 売上前年比110.1%

24.3期 認知拡大で更なる伸長を目指す

受付体制の整備

リフォームマイスター

3級 取得率 **76.4%**

2級 取得率 **30.2%**

(2023年3月末時点)

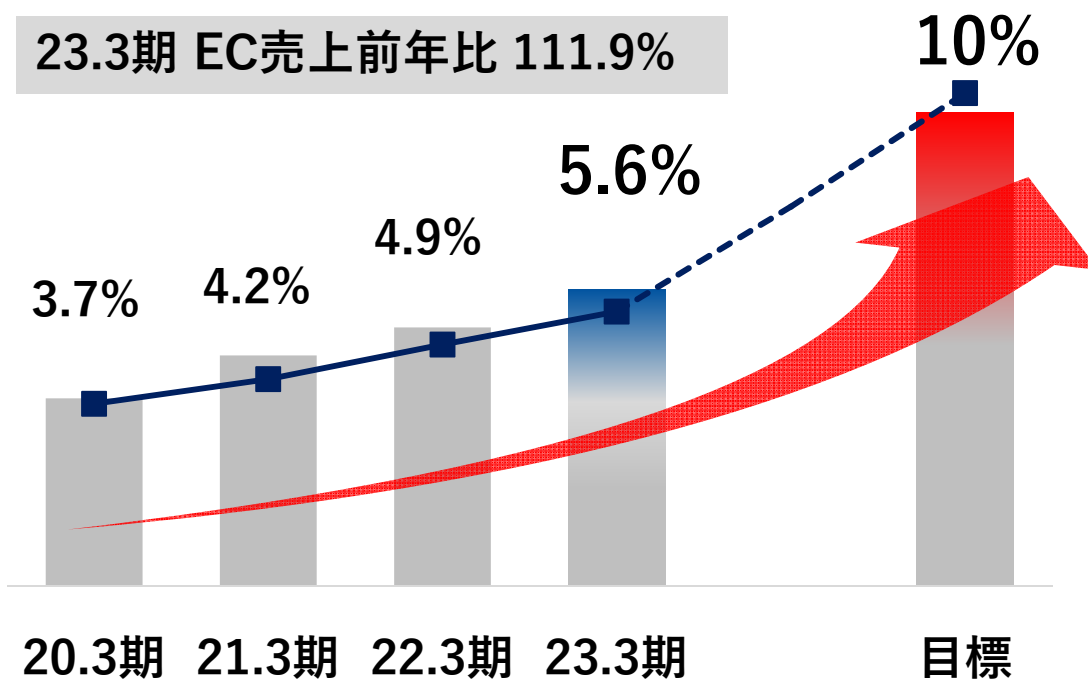
標準化されたリフォームサービスを全店で展開
住まいのお困りごとのトータルソリューション企業に

ネットとリアルでより身近に



■ 店頭受取比率は80%

EC売上高とEC比率推移



ネットと相性の悪い
大きくて重たい商品



ロイヤルカスタマーづくり



■お客様の買い物体験の向上

F S P 制度

スマホ決済「ココPay」
11月30日～



カード会員479万人＋アプリでより効果的なCRMが可能

農業振興の取り組み



- 農林水産省の肥料価格高騰対策事業へ新たに参画
- 農業用品予約販売はご要望の多かった配達を強化
- JA伊勢との協業を2023年2月1日より開始

肥料価格高騰対策に関するご案内

申請を希望されるお客様はレジ従業員まで

**肥料の
支援金申請**

について
とお声掛けください

当店で購入した肥料も

支援金の対象

となります

■肥料価格高騰対策事業とは
・化学肥料価格の取り組みを行ったうえで、前年度から増加した肥料費高騰分の70%を支援金として補助する国の事業です
■支援金の対象者
・化学肥料の産額に取組む販売農業者

農業用品 **予約**

大袋肥料配達承ります。

※一部商品は除きます。



JA協業店舗
4JA
25店舗に

商品知識の向上（農業資材マイスター2級 取得率 32.5%）とあわせ、より農業事業者様にご満足いただける体制へ

ニューオペレーションモデルの浸透



ニューオペレーションモデルの目的

店内組織における人員構成を最適化し、
より多くの人時数をかけられる体制とする。

⇒ 接客にあてられる時間を確保

現場作業の種類と量を削減 ⇒ 難易度に応じた作業割当
社員はより生産性の高い接客・売場づくりができる環境へ

Eラーニング・OJTで培った営業力でお困りごと解決

より専門的なマイスター2級取得者大幅増加

2級取得者 22.3末 2,749名 ⇒ 23.3末 6,337名

⇒ 住関連サービス売上、Eコマース比率の向上

D X ・ システム投資



■ お客様の利便性向上と業務生産性向上へのD X

店は店でしかできないことに集中

接客と売場づくりに専念

■ サービス体制を支援するシステム強化

リフォーム事業・Eコマース事業の拡大

〈リフォーム事業〉

全国1200店舗とお客様、施工業者様の情報連携

〈Eコマース〉

店舗とネットの融合を促進

全国1200の受取拠点とお客様、物流の情報連携

賢和塾

不易流行の精神を実践できる人材を育成
コメリの教育体系をまとめ「賢和塾」に統合

商品知識・業務習得の教育環境整備

Eラーニング環境の整備と教育時間の確保

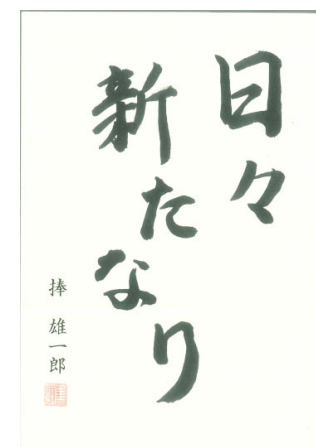
⇒ Eラーニングカリキュラムの充実と日々の
作業シフトへの教育時間の落とし込み

⇒ 23年3月期 教育人財投資額 17億円

職位・役職別カリキュラムに則って実施

経営理念研修 管理職・後継候補者教育

チェーンストア理論研修

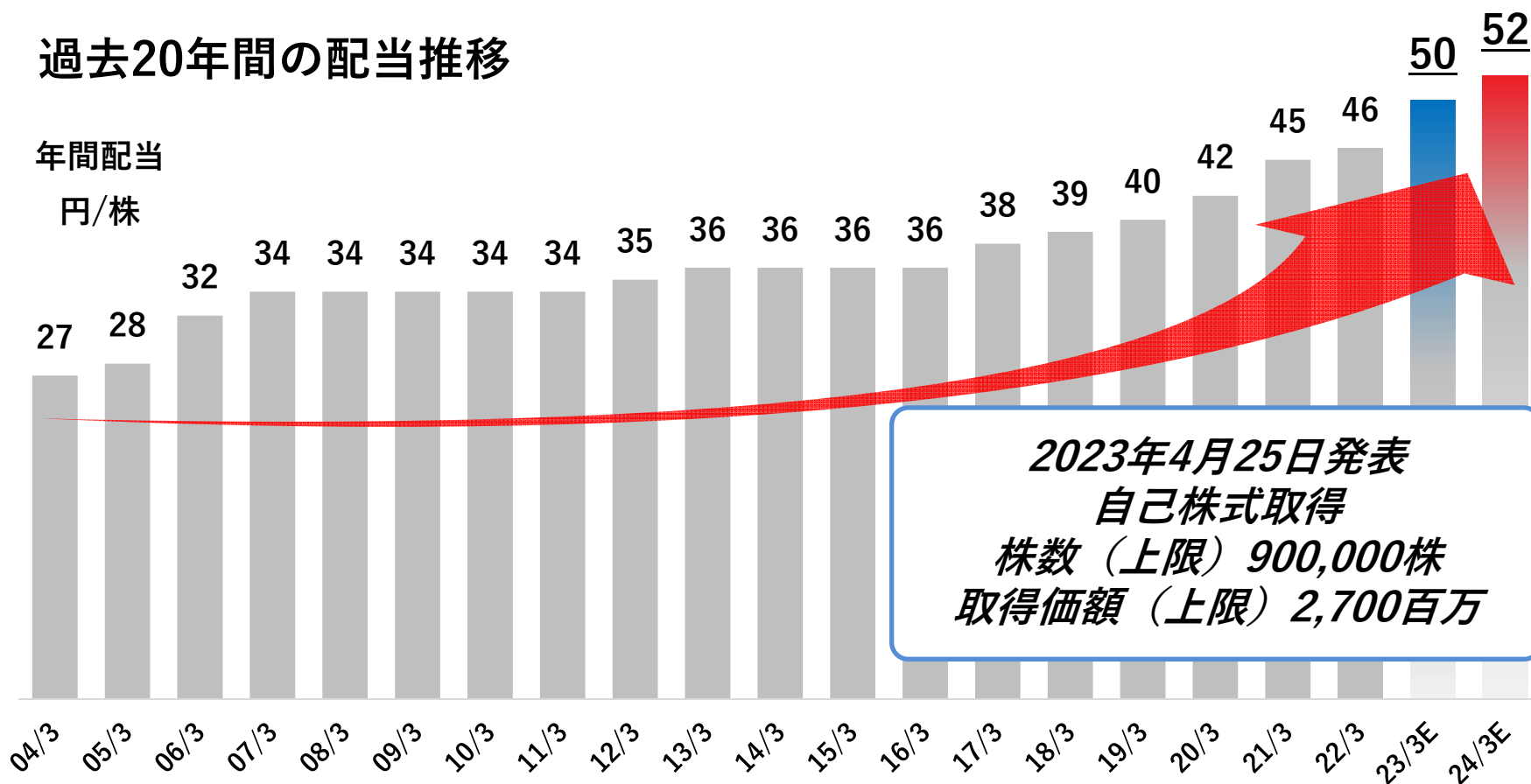


株主還元方針



- 配当については安定的・継続的に向上させることを基本とする
- 市場環境や資本効率を踏まえ、自己株式の取得も機動的に実施を検討する

過去20年間の配当推移



企業価値向上への取り組み



$$PBR = PER \times ROE$$

$$= PER \times ROA \div \text{自己資本比率}$$

総資産回転率 × 荒利益率 × 利潤分配率

売上シェア拡大

荒利益率改善

ローコストオペレーション

遅れた分野の流通近代化を成し遂げるための
成長基盤投資、PB開発、各種施策によるROAの向上

適時適切な開示とステークホルダーとの建設的な対話

成長投資・株主還元・財務基盤のバランスを意識した経営

コメリグループのESG・SDGs

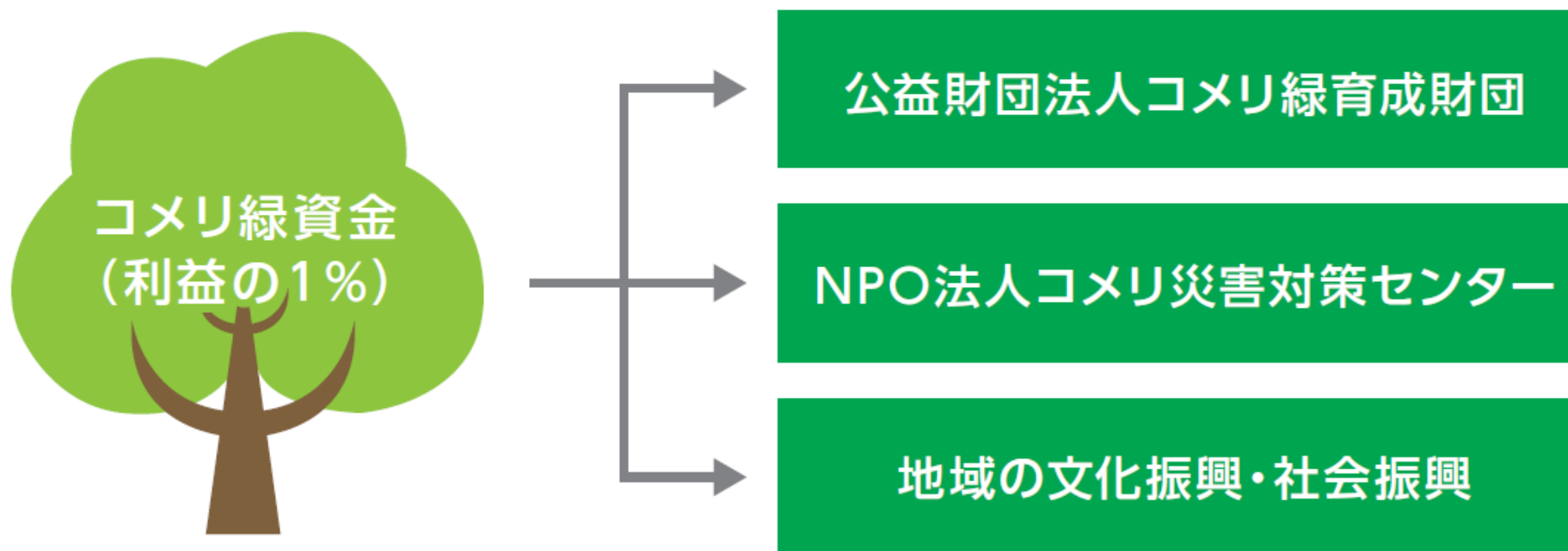


重要課題	主な取り組み内容	対応するSDGs
環境に配慮した事業の展開	環境に配慮した商品・サービスの提供 気候変動への対応、事業活動におけるCO ₂ 排出量の削減 プラスチック包装容器の削減及び廃棄物の削減 資源の有効活用、省エネルギー及びリサイクルの推進	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 15 陸の豊かさも 守ろう
少子高齢化社会における社会的インフラの提供	新商勢圏への出店による店舗網の拡大と雇用の創出 住まいに関するローコストな商品・サービスの供給体制の確立 農産物等の食料生産に必要な生産資材の提供の推進 災害時における生活必要物資の供給体制の構築 DXの推進によるローコストオペレーション体制の確立	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 11 住み続けられる まちづくりを 15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
公正な取引の推進 事業活動における 人権尊重	「お取引にあたってのお約束」の遵守 持続可能な原材料及び商品調達の実施 多様な価値観・プライバシー等を尊重し、人種、民族的背景、 性別、宗教、障害、年齢、性的指向等理由とした差別の禁止	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくらう 10 人や国の不平等 をなくそう 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
多様性の尊重 働きがいのある環境づくり	多様な人材がより能力を発揮できる教育体制の整備 性別やライフステージに関わらず、従業員が活躍できる環境整備 従業員の安全・衛生・健康を重視した働きやすい環境の実現	3 すべての人に 健康と福祉を 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も
コーポレートガバナンス 強化への取り組み	持続的な企業価値の向上のための体制整備 取締役を含めた経営陣幹部の多様性の確保	8 働きがいも 経済成長も 16 平和と公正を すべての人に

社会貢献活動



- 地域社会への恩返し「コメリ緑資金」
- 1990年から毎年利益の約1%を社会還元



33年間の活動総額は24.1億円

社会貢献活動



GOOD DESIGN
AWARD 2022

コメリ緑資金助成

- 「花いっぱい運動」などの植栽植樹活動への助成
- 自然環境の保護保全活動への助成



コメリ緑資金 ボランティア

- コメリ従業員がボランティアで行う、保育園、幼稚園、小中学校での植栽活動



農業の振興・ 支援事業

- 「コメリ農場」で農業体験イベントの開催
- 園芸・農業分野の研究開発事業への助成
- 園芸・農業に関する勉強会、講演等の実施
- 農業の担い手育成活動の支援

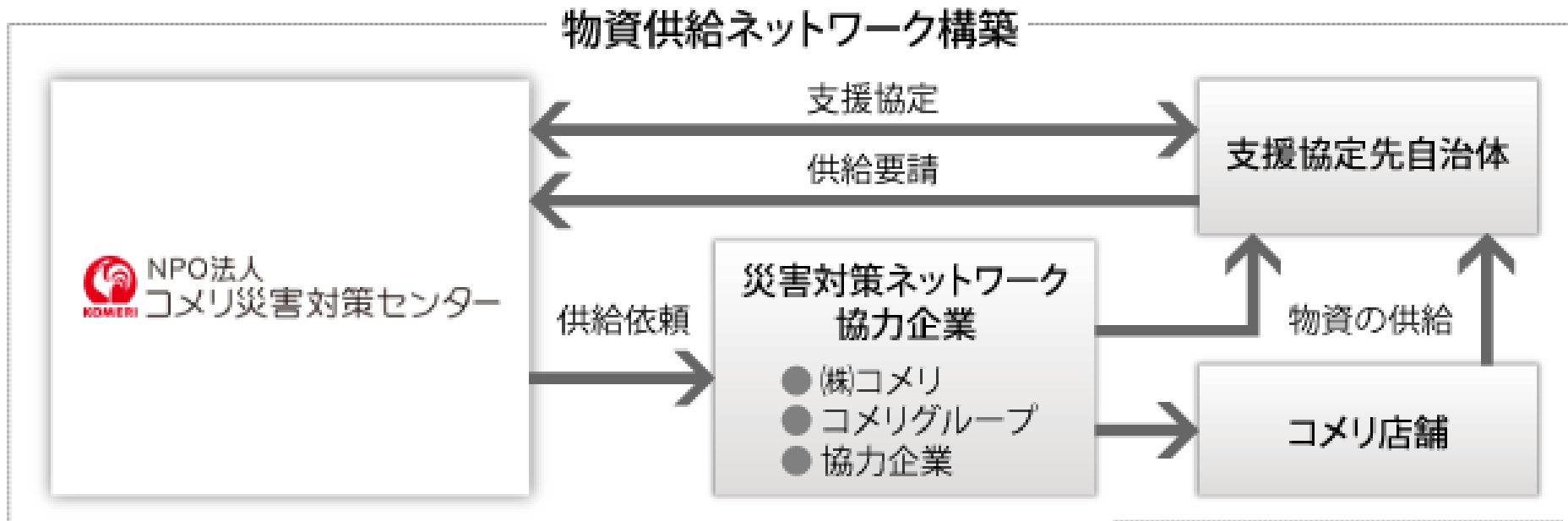


2012年に公益財団として新たにスタートしてからは、コメリ農場の運営や農業講演会開催など農業に関する新たな事業を加え、国の基幹産業である農業の振興や発展のための活動も行っています。

社会貢献活動



 NPO法人
コメリ災害対策センター



- ・ 災害時に物資を供給
- 全国各地の鳥インフルエンザ発生に対応
- ・ 1,010団体との物資支援協定を締結



社会貢献活動

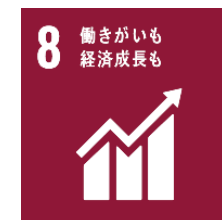


公益財団法人美術育成財団雪梁舎



雪梁舎美術館

SETSURYOSHA Museum of Art



若手芸術家の育成支援

フィレンツェ賞展 優秀者へフィレンツェへの留学を支援



いつもそばに、ずっと

コメリ

【見通しに関する注意事項】

当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する記述が含まれている場合があります。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定に基づくほか、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。したがって、現実の業績は当社の見込とは異なる可能性があります。